

## 2006 ITU ワールドカップマドリッド大会レース速報

### 上田藍が18位、田山寛豪は14位と健闘

### 優勝は女子がフェルナンデス、男子はゴメス

2006年6月4日（日）、スペインの首都マドリッドで、ITUワールドカップが行われた。この大会からイギリスの液化天然ガス会社であるBG社がITUのオフィシャルスポンサーとなった。またこのレースから、2008年の北京オリンピックへの国別出場枠を決めるポイントが加算されるため、世界各国から男女155名の選手が参加した。

日本ナショナルチームは男女合わせて5名、ほか5名の選手も参加。ポイント奪取を競った。

女子は、古谷あかね（トヨタ車体）がスイムを3位であり、バイクでも第1集団につけたが、ランで後退した。代わって、スイム47位と出遅れた上田藍（グリーンタワー・稲毛インター）がバイクで前に出られなかったもののランで追い上げ、18位となった。関根明子（NTT東日本・NTT西日本）はスイム58位から前を追ったが32位にとどまった。優勝は昨年に続きパネッサ・フェルナンデス（ポルトガル）。「2連覇は嬉しい」と喜びの声。

男子は、田山寛豪（チームテイケイ）がスイムをトップである活躍。そのままバイクを第1集団で戦い、ランで食い下がって14位と健闘した。山本淳一（K's-Y・グリーンタワー・稲毛インターITC）は、バイクで第2集団に着けながらもランが伸びずに53位。優勝は、スペインの若手ジャベル・ゴメス。「母国で優勝できた」と感激していた。

なお、レースの様子はフォトギャラリーでご覧になれます。



2連覇のフェルナンデス



ゴメスは初優勝



ランで前を追う上田



田山はスイムを1位であがった



表彰台を獲得した6名



# 2006 ITU ワールドカップマドリッド大会レース速報

## 上田 藍が18位、田山 寛豪は14位と健闘

### 女子トップ3／日本選手成績

順位	氏名	タイム	所属
1	パネッサ・フェルナンデス	2:06:07	ポルトガル
2	アンドレア・ヒューイト	2:06:41	ニュージーランド
3	アナ・ブルコス	2:06:59	スペイン
18	上田 藍	2:09:30	グリーンタワー・稲毛インター
32	関根 明子	2:12:52	NTT東日本・NTT西日本
38	古谷あかね	2:14:52	トヨタ車体
39	大松沙央里	2:15:19	トヨタ車体
46	下村 真紀	2:17:20	NSI
DNF	中西真知子	—	NTT東日本・NTT西日本

### 男子トップ3／日本選手成績

順位	氏名	タイム	所属
1	チャベール・ゴメス	1:53:09	スペイン
2	イワン・ラーニャ	1:53:17	スペイン
3	マイク・ペツォールド	1:53:21	ドイツ
14	田山 寛豪	1:54:29	チームテイケイ
53	山本 淳一	2:01:25	K's-Y・グリーンタワー・稲毛インター
61	西内 洋行	2:03:09	西京味噌
DNF	高濱 邦晃	—	日本食研実業団トライアスロン部

### スイムの遅れが痛かったと上田



日本選手最高位の18位にも不満顔の上田は、スイムでの失敗を悔やんでいた。スイムが上田と同じような実力でバイクが強い、オーストリアのターニャ・ハイボックをマークしてバイクに移ったが、集団が思うように前を終えなかった。それでもバイクラップ10位は立派。得意のランで前をゆく選手を一人ひとりかわして18位まで順位を上げた。次週の南アフリカでのワールドカップ出場が楽しみだ。

### 田山は、「今後の課題はバイク」と言い切った



2周回のスイムの1周目を2番手で通過し、水から最初にあがったのが田山。その勢いでバイクは第1集団で戦った。しかし、ランが思うように走れず、結局バイクからランに移った時の位置を維持して14位となった。トップとのタイム差は1分21秒だから、まずまずの出来といったところか。

しかし、田山は、「スイムは周りの選手たちをコントロールして泳ぐことが出来るのです。ですから、スイムトップはあまり驚いたことではありません」とまず切り出した。そして、「バイクでスイムと同じような力がないから、ランへとつなげないんです」と分析してみせた。つまり、バイクは集団のなかで何とか位置を保っている状態で、ランでトップがねらえるまで積極的には走っていないということだろう。「もう少しバイクをコントロールできれば、いい状態でランに移れるのですが」と言うあたり、今後の課題が見えてきたと言えそう。「何より、バイクで余裕を持って走れるようにトレーニングしたい」という田山の今後に期待したい。

